

PET-CTがん検診について

今回は日本医学放射線学会専門医、小田尚吾医師に「PET-CTがん検診」について伺いました。



▲小田尚吾 医師

ドックの基本コースに加えて脳MRI検査や消化管内視鏡検査、マンモグラフィ検査などを組み合わせた様々なコースを用意しています。中でも他施設の人間ドックと大きく異なる点として、当院ではPET-CTを使用した「PET-CTがん検診」をご用意している点です。

PET-CTがん検診は症状のない方に対するがんの早期発見を目的としています。2005年・2009年度の全国PET施設を対象としたアンケート調査ではPETがん検診で追加の精密検査が必要と

された率は10・9%、がんの発見率は0・96%という報告がなされています。また発見されたがんは「早期のがん(ステージI)」の例がほとんどを占めていました。

PET-CTがん検診はがん細胞が正常細胞よりもブドウ糖を多く使う性質を利用したFDGという薬剤を投与し撮影するPET検査とコンピュータ断層撮影(CT)による形態学的な診断を組み合わせることで

組み合わせることのできる。身近になったPET-CTがん検診を含め当院の健診センターをがんの早期発見、早期治療に役立てていただければ幸いです。

昨今、今治を中心とする東予地区在住住民のみならず、皆さまにおける健康への関心と予防医学の必要性の高まりに備え、当院では病院併設型健診センターを開設し、運用しています。当院では一般的な人間

組み合わせることのできる。身近になったPET-CTがん検診を含め当院の健診センターをがんの早期発見、早期治療に役立てていただければ幸いです。

社会福祉法人



恩賜財団

済生会今治病院

今治市喜田村7丁目1番6号 <https://www.imabari.saiseikai.or.jp/>

0898-47-2500

